



撮影協力：GARDEN CAFE ソライロ

伊ヶ谷 美穂さん 旭川移住歴：1年半

子どもと一緒にのびのびと 全部の“距離感”がいい街 旭川

子育ての環境作りなどを考え、千葉県から移住してきた伊ヶ谷さん。道内の数ある街の中でも、医療機関が充実しており迅速な対応ができること・空港が近いこと・北海道のまん中に位置しているため、交通アクセスの利便性があるなど子育ての環境作りに適していると考え、移住を決断しました。以前は希望する保育園に入れず、渋々空きがある他の保育園を選択。家からも職場からも遠い場所だったため、送迎も一苦労!「この時間がなかったらなあ、もう少し短かったらなあ」と電車で揺られながら考える日々も。

他にもマイホームを建てたい夢もありましたが、土地柄なかなか考えていた価格と合わないなど……日々を過ごしていく上で様々な悩みがあったそうです。移住する際、伊ヶ谷さんの出身が道内の幌加内町で、旭川市に近いこともあり知人からの情報収集もしやすく、また、ありがたいことに以前勤めていたスポーツクラブでの縁もあってトントン拍子で仕事先も決まりスムーズに移住ができました。子どもがいたため、様々な不安もありましたが、旭川市には公園も多く雨の日や冬でも使える大型屋内遊戯施設もあるほか、ファミリーサポートセンターなども活用しながら今では不安なく充実した日々を過ごせています。

誰もが気になる月々の生活費については、「正直収入は減ってしまったけれど、電車に乗らなくなったので定期代がかからなくなったことや、首都圏と比べて日用品・食料品などの物価が安いこともあり、旭川市へ移住したことで暮らしは豊かになりました。お金の話だけではなく、時間に余裕ができたことにより子どもと過ごす時間が増え、以前よりも子育てがしやすくなったのも大きな変化かもしれません。」保育園の送迎や通勤時の距離、買い物・観光といったお出かけの距離、家族と過ごす心の距離、様々な“距離感”が丁度良くて過ごしやすいまち、旭川市。仕事も子育ても両立できる支援もあります。丁度いい暮らしをぜひ旭川市で。



谷村 元気さん 旭川移住歴：1年

新しい暮らしの形“二地域居住” 東京都と旭川市でくらす

東京都と旭川市を行き来しながら暮らしている谷村さん。会社は東京都のIT関連、住居は旭川市と二地域に拠点をもち生活しています。旭川市に移住したきっかけは、学生時代から山スキーをしており、山スキー部に入部していた頃から道北の地・旭川市の雪質の良さに惹かれていました。山遊びのため将来は旭川市に住みたいと願い、テレワークやリモートワークなど、WEB上で仕事が完結できるよう準備を重ね、旭川市への移住が叶いました。

自然環境のみならず、旭川市は交通の利便性も良く、勤務地である東京都へも旭川空港からスムーズに移動が可能。出かけるときはちょっとした小旅行のようで、いつもと違う感覚になれるのも新鮮!北海道では購入できないものを東京都で購入できたり、雄大な自然を旭川市でとことんエンジョイしたり……2つの地域の美味しいところを、ちょうど良くつまんで楽しめるのも魅力だそうです。

また、移住前は通勤に時間がかかっていたのが、テレワークによりゼロになり、自分の好きなように仕事に集中しやすい環境をカスタマイズできるようになりました。「趣味の時間も一気に増えて、山遊びはもちろん、新たにトランポリンやパラグライダーなども始めました。四季折々のアクティビティも楽しめるのが旭川市の魅力です。これから先、二地域居住を考えている方に向けては、まず自分の従事する職種でテレワークの導入が可能か、そして仕事を細分化し、テレワークが可能な部分がないかを考えていくのが大事ではないでしょうか。」自分の働きたい環境は自分で生み出し、工夫をする。そして全力で楽しむ。これからの未来に向けた新しい暮らしの形の一つです。

